

◆キラリモチ栽培ごよみ◆ (暫定版)

茨城県・(公社)茨城県農林振興公社

時期	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育ステージ							出芽期			分けつ期						茎立期			出穂期			成熟期					
栽培管理	← ぼ場準備			← 播種			← 麦踏み						← 追肥			← 赤かび病防除			← 収穫・乾燥・調製								
播種期別の生育ステージの目安	◆生育ステージの判定 <ul style="list-style-type: none"> ● 茎立期：主稈長が2cmになった日 ● 出穂期：有効茎の40～50%が出穂した日 ● 成熟期：穂首が黄化し、穂軸や粒からは緑が抜け、粒には爪のあとがつき、ほぼロウくらいの硬さになった日 						◆播種時期別の生育ステージの目安 <ul style="list-style-type: none"> ● 茎立期：3月8日～3月18日頃 ● 出穂期：4月7日～4月14日頃 ● 成熟期：5月19日～5月22日頃 茎立期、出穂期、成熟期は平成28年～令和元年産の平均値、水田利用研究室(龍ヶ崎市)調べ(播種は11月中旬～11月下旬)						◆「キラリモチ」の高品質安定生産のポイント 11月中に播種し、基肥重点型の施肥により生育を確保することで、遅れ穂の発生を抑え、多収が得られます														

高品質安定生産のポイント (収量360kg/10a以上・1等)

① 圃場の準備

◆排水対策を徹底しましょう

- 排水性が劣るほ場は、暗渠・明渠・弾丸暗渠などを施工し、排水対策に努めましょう。

◆土壌改良

- pH(KCl) 5.5～6.0になるように矯正しましょう。

② 圃場の選定

◆六条大麦が近くにないほ場で栽培します

- 「キラリモチ」や六条大麦は開花性です



- × 交雑すると、モチ性などの特性を失った子実ができることがあります。

③ 播種

◆11月中に標準量を播種しましょう

播種期	播種量
11月中下旬	8～10kg/10a



- × 極端な早播きは、春先の低温による幼穂凍死や不稔が発生しやすいため、行わないようにしましょう。
- × 晩播や、播種量が極端に少なく、茎立期の生育量が不足すると、低収となり、遅れ穂が発生することがあります。
- × 深播きをすると出芽不良となることがあります。
- **種子は、毎年必ず更新し、種子消毒をしっかりと行いましょう。**

⑤ 赤かび病防除

◆出穂期の3日後頃(六条大麦と同時期)に実施しましょう

- 1回目の薬剤散布後、発病の好適条件が続く場合、7～10日後に2回目の散布を行いましょ。
- × 農産物検査時の赤かび粒の混入限度は0.0%で、それを超えると規格外となるので注意しましょう。

⑥ 適期収穫

◆穂発芽性が「易」のため、適期収穫を心掛けましょう

- 遅れ穂の子実、節下に抜けず、発芽が劣ります。
- 遅れ穂に合わせた収穫では「ヤケ粒」が多くなります。
- 降雨後や早朝の収穫を避けましょ。
- コンバイン収穫時は、成熟期の2～3日後から5日間、穀粒水分30%以下



収穫時期別の「キラリモチ」の子実の外観

⑦ 乾燥・調製

◆最終仕上げ水分は12.5%以下

- 戻り水分を考慮して基準より低めに乾燥しましょう。

◆乾燥穀温は40℃以下

◆調製篩目は2.2mmを使用

- 高水分麦の一時貯留はムレ麦、熱損粒、異臭麦、発芽による低アミロ麦等の発生により品質が低下するため、直ちに適切な乾燥を行いましょ。
- 高水分麦を高温で上げると色合いが悪くなることもあるため、送風温度に注意しましょ。

④ 施肥

◆基肥重点型の施肥法が適しています

基肥窒素量	追肥時期	追肥窒素量
8～10kg/10a	茎立期まで	2kg/10aまで

- × 追肥量が多いと、遅れ穂が多発する恐れがあります。
- 地力が高いほ場は、無追肥とします。

